



茨城県

2月号 平成30年2月1日  
発行 茨城県 編集 広報広聴課  
〒310-8555 水戸市笠原町978 番6  
TEL 029-301-1111(代表)  
TEL 029-301-2128(直通)  
FAX 029-301-2168

県政情報紙

# ひばり



いばらキッス

心を込めて作った自信作！「いばらキッス」ではじける笑顔！！（「いばらキッス」生産者とご家族の皆さん）



茨城県知事

大井川 和彦

今月号から、コラムの掲載を始めました(裏表紙)。ぜひ、ご一読ください。

- 地域ぐるみのイノシシ被害防止対策……………P2~3
- 「新しい茨城づくり」政策ビジョン……………P4~5

いばらきのブランドづくり  
「いばらキッス」

「いばらキッス」は、平成24年に品種登録された県オリジナル品種のいちごです。

8年という歳月をかけ、1万以上の候補の中から、果肉がしっかりとした「こちおとめ」、甘くて大きい「レッドパール」、酸味が少ない「章姫<sup>あきひめ</sup>」を掛け合わせて誕生しました。

「いばらキッス」は、香りが豊かで、濃厚な甘みとコクがあり、酸味とのバランスが良いのが特徴です。また、適度な硬さとジューシーな食感も魅力で、他の品種とは違った味わいを楽しめます。

生産者が、土作りや水分管理を研究し、味にこだわり、心を込めて作った「いばらキッス」。

旬を迎えた、いばらきのブランドいちご「いばらキッス」を、ぜひご賞味ください。

2  
2018

# 自分たちの米は自分たちで守る

## 地域ぐるみのイノシシ被害防止対策

野生鳥獣による農作物被害が全国で頻発しており、本県における平成27年度の被害額は約5億6千万円にも上ります。

そのうち、イノシシによる被害額は約9千万円であり、かつては生息地域ではなかった平地でもイノシシの目撃情報が寄せられるなど、その被害地域は拡大しています。

今回は、地域ぐるみで行うイノシシの被害防止対策活動を支援する、獣害対策サポーター<sup>※</sup>の吉澤 俊さん<sup>（よしかぜ としゆん）</sup>にお話を伺いました。

<sup>※</sup>県では、イノシシの被害防止対策を支援する人材を育成するため「茨城猪塾」を開講（平成24～27年度）し、108人の「獣害対策サポーター」を養成しています。

**Q** なぜイノシシによる被害が増えているの？

**A** 人口減少や高齢化などにより、耕作放棄地など、イノシシがえさ場や隠れ場所とする生息適地が拡大している。

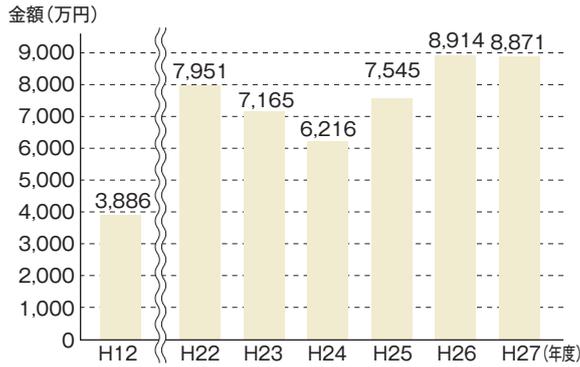
大し、農地に近づきやすい環境になつてきているからです。

また、狩猟者の減少やイノシシの繁殖力が強いことも要因に挙げられます。

ことです。

それでも被害が発生する場合は、狩猟期間内の狩猟のほか、有害鳥獣捕獲許可を受け、わなや銃による「捕獲」を行います。

## 本県のイノシシによる農作物被害金額の年度別推移



**Q** 被害を防止するポイントは何？

**A** 一つ目は、農地に不要な作物を放置せず、隠れ場所となるやぶを刈り払い、イノシシを「近づけない」ことです。

二つ目は、電気柵などの侵入防止柵を設置し、適切に管理することで、イノシシを「侵入させない」



獣害対策サポーターの吉澤さん。桜川市の農林課職員でもあります。

**Q** 被害防止対策で大切なことは？

**A** 対策を人任せにせず、一人一人が意識を持ち、地域ぐるみで対策を行うことが大切です。

主に稲作を営む農家が多い桜川市本木地区の例をご紹介します。この地区では、平成23年頃からイノシシによる被害が増えてきました。乳熟期（つぶすとミルク状の液体が出てくる時期）の米の食害や、体に付いた寄生虫を落とすた



柵を超えて田んぼ側に侵入するイノシシ

「いばキラTV」でも野生鳥獣被害防止対策について動画配信中！

## お問い合わせ先

### ●野生鳥獣による農作物の被害防止に関すること

各市町村農林部局担当課または  
県農村環境課 ☎029(301)4264

### \*被害防止対策の支援策(助成制度など)について

市町村協議会などが実施する、侵入防止柵の設置(3戸以上)や箱わななどの導入、緩衝帯の設置、有害鳥獣捕獲など、被害防止対策に関する国の助成制度があります。

また、県では、国の交付金の対象外となっている侵入防止柵の設置(3戸未満)やイノシシ捕獲経費に対する助成制度を創設し、被害防止対策の強化を図っています。

### ●狩猟免許に関すること

最寄りの県民センター環境・保安課または  
県環境政策課 ☎029(301)2946

### \*狩猟免許について

狩猟をするために必要な狩猟免許は、県が実施する試験に合格することで取得できます。

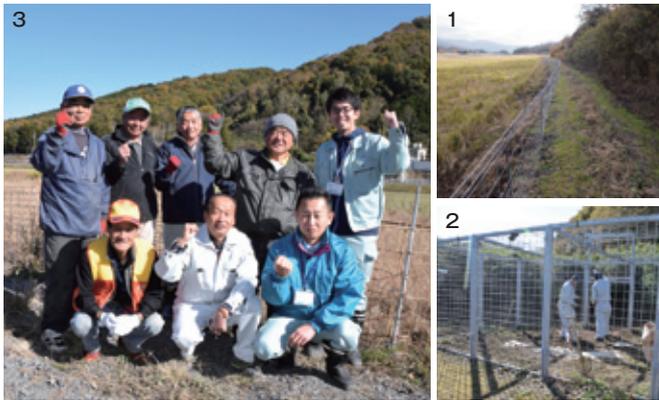
平成30年度の試験日程や申請手続きなどの詳細は、4月下旬ごろに県環境政策課のホームページに掲載します。

免許の種類▶第一種銃猟、第二種銃猟、網猟、わな猟  
受験資格▶県内在住で20歳以上の方(網猟、わな猟は18歳以上)

女性も「狩りガール」として活躍中！



▲狩りガールの瀬川礼江さん(左)、森田篤子さん(右)(城里町)



1.山側に約2キロメートル続く柵 2.イノシシの通り道に設置された「囲いわな」  
3.桜川市本木地区の有志の皆さん

め、横になって泥遊びをする「ぬたうち」による被害です。この「ぬたうち」をされてしまうと、稲が倒れてしまう上に、米に臭いが付き、売り物になりません。本木地区では、有志が「本木鳥獣害対策協議会」を立ち上げ、被害状況を分析し、イノシシについての正しい知識を身に付け、対策を話し合いました。

その結果、山側に約2キロメートルの侵入防止柵を、さらに隣接する地区には捕獲用の「囲いわな」を設置しました。メンバーが毎日交代で柵を見回り、壊され

た場合は修理を行ってきました。そのおかげで、平成28年度の本木地区のイノシシによる被害額は前年の約半分に減ったのです。

### 取材を終えて

地域ぐるみでイノシシによる被害防止対策に取り組む桜川市本木地区。毎日の見回りや侵入防止柵のこまめな修理など、徹底的な対策が、被害防止に効果を上げたポイントだと思いました。

県では、こうした地域で取り組む野生鳥獣被害防止対策の助成制度を設けるとともに、「茨城県イノシシ管理計画」を策定し、イノシシが増えすぎないよう、年間の捕獲数の目標を定め、個体数の管理に取り組んでいます。

イノシシは、時には田畑を荒らし、私たちが困らせることがある一方で、豊かな自然環境を支える構成員でもあります。「人と野生鳥獣、自然環境の調和のとれた社会」を実現するためには、地域の皆さんはもちろん、行政機関や猟友会、農業団体などの関係者がより一層協力して、対策に取り組んでいくことが重要であると強く感じました。

いばらき女性特派員 篠原友美

## IBARAKI いばらきエコスタイル eco STYLE できるエコからはじめよう

県民総ぐるみによる  
地球温暖化対策

地球温暖化対策を進めるためには、私たち一人一人が環境に配慮して、日々のライフスタイルを少しずつ変えていくことが大切です。特に、冬の間は給湯や暖房に使われるエネルギーが多くなる傾向にあります。家庭や職場などの身近なところから、地球にもお財布にも優しい省エネを進めましょう。

### 家庭での省エネのコツ

#### 冬の暖房時の室温は20℃を目安に

- エアコンの場合  
年間で電気**53.08kWh**の省エネ  
CO<sub>2</sub>削減量**31.2kg**
- ※外気温度が6℃の時、エアコン(2.2kW)の設定温度を21℃から20℃にした場合  
(使用時間:9時間/日)

年間 **約1,430円**の節約

- 石油ファンヒーターの場合  
年間で灯油**10.22L**の省エネ  
CO<sub>2</sub>削減量**25.4kg**
- ※外気温度が6℃の時、設定温度を21℃から20℃にした場合  
(使用時間:9時間/日)

年間 **約650円**の節約

#### シャワーを不必要に流したままにしない

- 年間でガス**12.78m<sup>3</sup>**の省エネ  
水道**4.38m<sup>3</sup>**の省エネ  
CO<sub>2</sub>削減量**29.0kg**
- ※45℃のお湯を流す時間を1分間短縮した場合(1回/日)

年間 **約3,300円**の節約

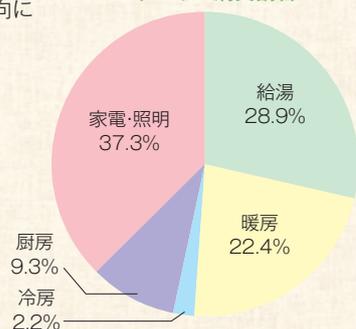
#### 間隔をあけずに入浴

- 年間でガス**38.20m<sup>3</sup>**の省エネ CO<sub>2</sub>削減量**87.0kg**
- ※2時間放置して4.5℃低下した湯(200L)の追い炊きをやめた場合(1回/日)

年間 **約6,880円**の節約

出典:経済産業省資源エネルギー庁  
「家庭の省エネ徹底ガイド 春夏秋冬2017」

#### 家庭における用途別 エネルギー消費割合



出典:経済産業省資源エネルギー庁  
「エネルギー白書2017」

### 「いばらきエコスタイル」 ロゴマークを制作しました!



このマークは、「ひばり」1月号で紹介した「いばらきクリエイターズハウス」入居者の「MOSOFU」メンバーである本木俊太郎さんが制作したものです。

その他の省エネ方法は、[「いばらきエコチャレンジ」](https://www.ibaraki-eco-challenge.jp/)をご覧ください。  
<https://www.ibaraki-eco-challenge.jp/>



県環境政策課 ☎029(301)2939

県民の皆さん、未来に希望の持てる「新しい茨城づくり」に、ともに挑戦していきましょう。

## 基本理念

# 活力があり、県民が日本一幸せな県

人口減少時代を迎える中でも、県民一人一人が本県の輝く未来を信じ、「茨城に住みたい、住み続けたい」人が大いに増えるような、「活力があり、県民が日本一幸せな県」の実現に挑戦します。

## 4つの新しい チャレンジ

「新しい豊かさ」「新しい安心安全」「新しい人財育成」「新しい夢・希望」の4つの茨城づくりを推進し、新たな発想による思い切った施策を展開します。



## Ⅲ.「新しい人財育成」へのチャレンジ

茨城の未来を創る「人財」を育て、日本一子どもを産み育てやすい県を目指します。

### 11 次世代を担う「人財」育成

「知・徳・体」のバランスのとれた教育を推進するとともに、グローバル社会で活躍する「人財」を育成します。



### 12 教育環境の充実

茨城の将来を支えリードする多様な「人財」を育成するため、ICT(※)教育先進県を実現します。

※Information and Communication Technologyの略称。情報通信技術。

### 13 日本一、子どもを産み育てやすい県

保育サービスの充実や教育費の負担軽減など、子育て支援を進めます。



### 14 学び・文化・スポーツに親しむ環境づくり

生涯学習への取り組みや、文化・スポーツを楽しむ環境づくりを推進します。

### 15 人権を尊重し、多様性を認め合う社会づくり

一人一人の人権が尊重され、それぞれの多様性を認め合う共同参画の取り組みを推進します。



## Ⅳ.「新しい夢・希望」へのチャレンジ

将来にわたって夢や希望を描ける県とするため、観光創生や魅力度向上を図ります。

### 16 魅力度No.1プロジェクト

茨城ブランドの国内外への情報発信力の強化、ブランド力の向上を図ります。

### 17 世界に飛躍する茨城へ

県産品の輸出を促進するとともに、ベンチャー企業の支援などにより、イノベーションの拠点の形成を図ります。

### 18 ビジット茨城～新観光創生～

国際観光・国際交流を推進するほか、地域資源の開拓や体験型観光の促進などに取り組むことにより、新たな観光創生を目指します。

### 19 茨城国体・全国障害者スポーツ大会、東京オリンピック・パラリンピックの成功

受入体制の整備、機運の醸成や運営ボランティアの育成などを進め、大会を成功へ導きます。



### 20 発展を支える社会資本の整備と住み続けたいまちづくり

広域交通ネットワークをはじめとした社会資本を整備するとともに、人にやさしい魅力あるまちづくりを進めます。



▲つくば霞ヶ浦りんりんロード

▲竜神大吊橋(常陸太田市)バンジージャンプ



今後取り組むべき政策の方向性をまとめた「政策ビジョン」を策定しました。

# 「新しい茨城づくり」 政策ビジョン

県企画課 ☎029(301)2523  
☒「新しい茨城づくり」で検索



## I. 「新しい豊かさ」へのチャレンジ

力強い産業の創出とゆとりある暮らしを育み、新しい豊かさを目指します。

### 1 科学技術を活用した 新産業育成、 中小企業の成長支援

先端技術を取り入れた新産業の創出や、中小企業の支援を行います。

### 2 質の高い雇用の創出

成長分野の企業誘致を強  
力に進め、若者に魅力ある  
雇用の創ります。

### 3 「強い農林水産業」の実現

ブランド力強化や  
国内外の販路開拓な  
どの取り組みを推進  
します。



### 4 かけがえのない 自然環境の保全・再生

豊かな自然環境を守ると  
ともに、環境への負荷が低い社  
会環境づくりを推進します。



▲霞ヶ浦の帆引き船

### 5 多様な働き方の実現

多様で柔軟  
な働き方を実現  
するとともに、  
東京圏から本県  
への新しい人の  
流れを創ります。



▲女性のキャリアアップ  
勉強会



▲古民家を活用した  
コワーキングスペース

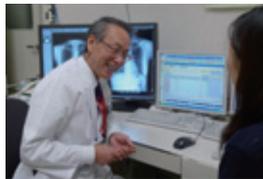


## II. 「新しい安心安全」へのチャレンジ

医療、福祉、治安、防災など県民の命を守る生活基盤を築きます。

### 6 県民の命を守る 地域医療・福祉の充実

医療従事者の確保や、遠  
隔医療、特区制度の活用な  
ど、地域医療・福祉の充実を  
図ります。



### 7 健康長寿日本一

健康でいきいきと生活し、  
活躍できる保健・福祉・医療・  
介護サービスの支援体制を  
構築します。



▲シルバーリハビリ体操教室

### 8 障害児・障害者 福祉の充実

福祉サービスの充実、自立支援、  
就労機会の拡大と雇用の拡充を  
進めます。

### 9 安心して暮らせる 社会づくり

治安対策の強化  
や地域コミュニティ  
の活動を支援します。



### 10 災害に強い県土づくり

大規模災害などの危機から  
県民を守るための体制強化や、原子  
力安全対策を進めます。

※当ビジョンは、平成30年9月を目途に策定を予定している「新たな県総合計画」に先駆け、取り組むべき政策の方向性を示すものです。

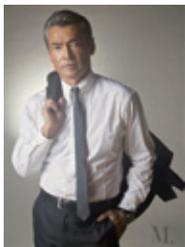
# お知らせひろば

☎……問い合わせ先 ㊟……申し込み先  
🌐……ホームページ

## 催し物

### 地方創生フォーラムin茨城

サイクリングにスポットを当て、渡辺裕之氏によるトークショーやパネルディスカッションを通して、「交流の拡大による地方創生」について考えます。フォーラム終了後は、交流会も開催します。申し込みは下記まで。



渡辺裕之氏

**開催日**▶2月16日(金)  
13時30分～17時  
交流会:17時15分～18時45分  
**場所**▶フェリヴェール サンシャイン(水戸市)  
※入場無料(交流会参加費3,000円)  
**締め切り**▶2月7日(水)  
(定員400人・先着順)

㊟・㊟県地域計画課 ☎029(301)2732  
🌐「地方創生フォーラムin茨城」で検索

### 女性・若者フォーラム

地域の課題解決などで活躍する、またはこれから活躍したいと考えている女性や若者、支援者に向けたイベントです。実践的なワークショップや活動団体によるポスターセッションを行います。フォーラム終了後は、交流会も開催します。申し込みは下記まで。



昨年のポスターセッションの様子

**開催日**▶2月24日(土)  
13時30分～17時15分  
交流会:17時30分～19時30分  
**場所**▶まちなか・スポーツ・にぎわい広場 M-SPO(水戸市)  
※入場無料(交流会参加費1,500円)  
**締め切り**▶2月16日(金)  
(定員150人・先着順)

㊟・㊟(公社)茨城県青少年育成協会  
☎029(227)2747  
🌐「女性・若者フォーラム」で検索

## 募集

### 「高齢者はつつ百人委員会」委員募集

高齢者自らがメンバーとなり、健康や生きがいづくりに関するさまざまな事業を企画・実施します。委員会は、県北・県央・鹿行・県南・県西の5地域に設置され、各地域ともおおむね100人の委員で構成されます。

**対象**▶県内在住のおおむね60歳以上の方で会の活動に出席できる方  
※地方公共団体の長および議員は除く

**任期**▶4月～平成32年3月(2年間)

**締め切り**▶2月28日(水)  
※定員になり次第締め切り

㊟・㊟茨城わくわくセンター  
(社福)茨城県社会福祉協議会内  
☎029(243)8989

### 医師修学資金の貸与者を募集

将来、県内の医療機関等で一定期間、医師として勤務することを返還免除条件に、医学生に対し修学資金を貸与します。

**対象**▶○県内出身で県外の医学部に在籍する方  
○筑波大学医学群医学類に在籍する方  
※いずれも新1年生を含む。

**貸与額**▶15万円/月(平成28年度以前の入学者は10万円/月)

**応募期間**▶3月1日(木)～15日(木)

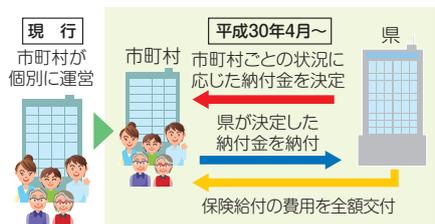
**選考方法**▶書類審査および面接

㊟・㊟県医療人材課 ☎029(301)3191  
🌐「茨城県地域医療支援センター」で検索

## 案内

### 国民健康保険の制度が変わります

不測の医療費増加などのリスクを広く分散し、安定した財政運営を確保するため、4月から、市町村が国民健康保険給付に必要な費用を県が全額支払うなど仕組みが大きく変わります。これにより、市町村ごとの負担額の変化が予想されますが、急激に負担が増加しないよう、県が市町村に財政支援を実施します。なお、保険税率の決定や賦課徴収、保険証の発行、保険給付などの窓口業務はお住まいの市町村が行います。



㊟県厚生総務課 ☎029(301)3172

## 2月4日は“風しんの日”

風しんは感染力が強く、特に、妊娠初期の女性が感染すると、赤ちゃんが難聴や心疾患などの病気を持って生まれる可能性が高くなるため、周囲の方も予防接種を受けることが大切です。予防接種を受けていない方で、風しんに感染したことがない方は、かかりつけの医師に相談しましょう。

㊟県保健予防課 ☎029(301)3233

### 東日本大震災の支援金について

東日本大震災で住宅被害(全壊、大規模半壊、半壊で解体)を受けた世帯を対象とする被災者生活再建支援金の申請期間が、一部地域で延長になりました。

○水戸市、日立市、常陸太田市、北茨城市、取手市、ひたちなか市  
→基礎支援金・加算支援金ともに平成31年4月10日まで

○石岡市、笠間市、潮来市、那珂市、稲敷市、神栖市、鉾田市  
→基礎支援金:平成30年4月10日まで  
加算支援金:平成31年4月10日まで

○その他の市町村  
→基礎支援金・加算支援金ともに平成30年4月10日まで

※基礎支援金:住宅の被害程度に応じて支給する支援金  
加算支援金:住宅の再建方法に応じて支給する支援金

お早めに申請してください。

㊟各市町村または県防災・危機管理課  
☎029(301)2879

### 2・3月は茨城県フィルタリング普及啓発推進月間

インターネット上の有害な情報から子どもを守るため、「フィルタリング」を利用しましょう。スマートフォンなどの購入時には、「子どもが使います」とお店の方に伝えてください。ゲーム機や携帯音楽プレーヤーなどにも、子どもに渡す前に、フィルタリングを設定しましょう。

㊟県女性青少年課 ☎029(301)2183

### 茨城空港から台湾へ!

3/26からは、週2日のチャーター便も追加決定

3月に、「茨城-台湾(台北)」のチャーター便が運航されることになりました。人気の観光地“台湾”を存分にお楽しみいただける機会です。ぜひご利用ください。

**ツアー行程**▶①3月1日(木)～5日(月)  
②3月8日(木)～12日(月)

**ツアー料金**▶59,800円から

**航空会社**▶タイガーエア台湾

㊟県空港対策課 ☎029(301)2761  
🌐「茨城空港」で検索

# 催し物ガイド



## 県近代美術館

### 企画展「生誕100年 清宮質文」

2月23日(金)～4月8日(日)

詩情溢れる木版作品で多くの人を魅了する、本県ゆかりの作家・清宮質文の生誕100年を記念する大回顧展です。木版や水彩、ガラス絵など191点を紹介します。

「第10回記念  
現代茨城作家美術展」  
2月12日(月)まで  
開催中



清宮質文

「さまよう蝶(何処へー夢の中)」1963年  
当館 照沼コレクション

〈入館料〉一般980円、高・大生720円、小・中生360円

※水戸の梅まつりに合わせて会期中4月1日(日)まで無休

水戸市千波町東久保666-1 ☎029(243)5111 ㊟029(243)9992

## 県天心記念五浦美術館

### 「秘蔵の木村武山展」

2月9日(金)～4月22日(日)

笠間市出身で「五浦の作家」の一人・木村武山。行方不明だった再興院展出品作「群鶴(其一)」(1924年)をはじめ、近年の調査で発見された41点の武山作品が一堂に会します。



「群鶴(其一)」(右隻)  
1924年 個人蔵

〈入館料〉一般310円、高・大生210円、小・中生150円

北茨城市大津町椿2083 ☎0293(46)5311 ㊟0293(46)5711

## 県陶芸美術館

### 企画展「いばらき工芸大全Ⅲ 染織の巻」

3月11日(日)まで

※2月3日(土)13時30分から、出品作家による作品説明会を開催。

### 同時開催「新しいうつわ -笠間と益子-」

2月18日(日)まで

12人の作家の個性や現代の感覚が取り入れられた「新しいスタイルのうつわ」の魅力を紹介します。

〈入館料〉一般720円、高・大生510円、小・中生260円

笠間市笠間2345(笠間芸術の森公園内)

☎0296(70)0011 ㊟0296(70)0012

## 美術館・歴史館 博物館の利用案内 (県立図書館を除く)

- 開館時間／9時30分～17時(入館は16時30分まで)
- 月曜休館(2月12日(月)は開館、13日(火)は休館)※県立歴史館は2月12日(月)は休館
- 満70歳以上の方(健康保険証、運転免許証などを持参してください)、障害者手帳などをお持ちの方と未就学児は入館無料
- 毎週土曜日は、高校生以下は入館無料(春・夏・冬休み期間中は除く)

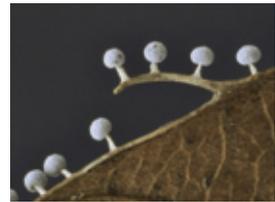
## ミュージアムパーク県自然博物館

### 第71回企画展

### 「変形菌-ふしぎ?かわいい!森の妖精-」

2月17日(土)～6月10日(日)

「変形菌」がどのような生きものなのかを資料や映像で明らかにするとともに、変形菌に魅せられた研究者やアーティストをはじめ、最新の技術と変形菌との意外な接点などを紹介します。



シロエノカタホコリ

〈入館料〉一般740円、高・大生450円、小・中生140円

坂東市大崎700 ☎0297(38)2000 ㊟0297(38)1999

## 県立歴史館

### 一橋徳川家記念室開設三十周年

### 「一橋徳川家の200年」

2月10日(土)～3月21日(水・祝)

当館の一橋徳川家記念室が、今年で開設30周年を迎えるにあたり、近世から近代にかけて一橋徳川家がたどった200年のゆかりの資料や名品を中心に紹介します。



かほはついで(徳川家) 唐花打板雲文様段替厚板唐織  
(当館蔵)

〈入館料〉一般600円、大学生310円、高校生以下無料

水戸市緑町2-1-15 ☎029(225)4425 ㊟029(228)4277

## 県立図書館

### 第16回読み聞かせコンクール

朗読部門:2月3日(土)9時30分～16時30分

自由部門:2月24日(土)9時30分～16時30分

※出場者の募集は終了していますが、自由に観覧いただけます。

### セレクトシアター

2月14日(水)13時30分～15時30分

上映内容:「そして父になる」

〈参加費〉無料

水戸市三の丸1-5-38 ☎029(221)5569 ㊟029(228)3583

■開館時間／平日:9時～20時 土・日・祝:9時～17時

■2月の休館日／5、13、19、26、28日

## 新生活スタートの季節です



3月中旬から4月上旬には1年の引越件数の約3分の1が集中します。  
分散引越にご理解いただき、安心して依頼できる  
茨城県トラック協会の事業者にお気軽にご相談ください。



「引越安心マーク」は  
引越事業者優良認定制度の基準を満たして  
認定された事業者のトラックに貼っています

くらしと経済のライフライン

## 社団法人 茨城県トラック協会

〒310-0913 水戸市見川町2440-1  
TEL 029-303-6363 FAX 029-243-5936  
ホームページ <http://www.ibatokyo.or.jp>



茨城県トラック協会  
マスコミキャラクター  
はと坊

### 輸送相談所

東北支部(高萩市).....0293-23-1779	県南支部(取手市).....0297-83-3511
日立支部(日立市).....0294-22-0510	水戸線支部(筑西市).....0296-22-4541
水郡線支部(大子町).....0295-72-0256	常総支部(下妻市).....0296-43-0991
常陸那珂支部(ひたちなか市).....029-285-3711	古河支部(古河市).....0280-92-3341
水戸支部(水戸市).....029-212-3812	県西支部(坂東市).....0297-34-3331
石岡支部(石岡市).....0299-23-7811	鹿行支部(行方市).....0299-55-0155
土浦支部(かすみがうら市).....029-828-1875	

# 知事コラム

Where there's a will, there's a way.

～ 意志あるところに道は開ける ～



さあ、どんどん召し上がってください!



これからも、茨城の農産物をよろしく願います!

皆さん、茨城県オリジナル品種のいちご「いばらキッス」はもう召し上がりましたか。私は初めて「いばらキッス」を食べた時、「こんなにおいしいいちごがあるのか!」と驚いたことを覚えています。

さて、1月10日(水)、東京都の大田市場でJAグループ茨城の皆さんとともに、県産農産物のトップセールスを行ってきました。

県内の全20JAが集った会場には、いちごやかんしょ、はくさい、れんこん、干しいもなど、茨城の旬の農産物が並び、私もJAの方々と一緒に市場関係者に試食を配布しました。

試食をした方々から、「本当においしい!」という

生の声をたくさん頂くなど、確かな手応えを感じ、私もPRに一層熱が入ったところです。

現在、県では、JAや農業者の皆さんと協力しながら、茨城の農産物の品質向上に取り組んでいます。その一方で、皆さんに茨城の農産物のおいしさを知ってもらい、さらに認知度を上げていくことが大変重要なことだと考えています。

今後も、さまざまなアイデアを出して農業県茨城をアピールし、茨城の農産物のブランド力強化や国内外の販路開拓などの取り組みを進めてまいります。

茨城県知事 大井川 和彦

## 誇れる いばらき hokoreru ibaraki

## ゴルフプレーで茨城を盛り上げたい!

昨年11月に、最年少で「いばらき大使」に委嘱されたプロゴルファーの畑岡奈紗さん(19歳、笠間市出身)は、2016年に開催された日本女子オープンゴルフ選手権競技において、公式戦最年少で優勝。2017年に2連覇を果たし、現在は米国を拠点に生活しています。そんな畑岡さんに、茨城の魅力や今後の抱負を語っていただきました。



笑顔が素敵な畑岡さん

茨城県は自然が豊か。人が優しく、帰国するたび、皆さんが温かく迎えてくれます。食べ物では、「納豆」が大好きです。私は、いばらき大使として、ゴルフで良いパフォーマンスをすることで、茨城県を盛り上げていきたいと思っています。



提供: 日本ゴルフ協会

※いばらき大使:各界で活躍する本県出身者や県にゆかりのある県外在住者に、本県の魅力をPRいただいています。

このコーナーでは、いばらきが誇る「頑張る人」「もの」「場所(風景)」などを紹介していきます。

## ひばりクロスワードパズル

正解者の中から抽選で10人の方に、すてきなプレゼントが当たります。

今月号はこれ!

いばらきの「干しいもセット」

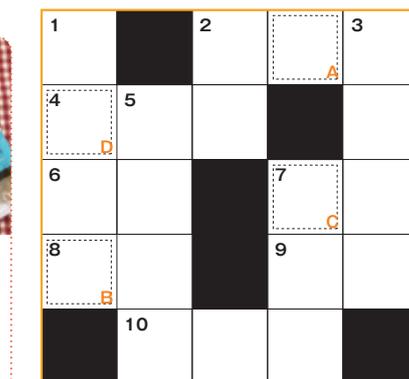


(株)幸田商店(ひたちなか市) ☎0120(700)113

本県は、全国の「干しいも」のシェア9割以上を占める日本一の産地。「干しいも」は、原料のさつまいもを蒸して、丁寧に天日で干しあげて作ります。冷たい海風に当てることで、栄養が凝縮し、甘みの増した「干しいも」が出来上がります。今回は「茨城おみやげ大賞2016」で最高金賞に輝いた「海風ほしいも」に、「べにはるか丸干しほしいも」と「シルクスweet平切りほしいも」をセットにしてお届けします。

### 〈応募方法〉

県ホームページ「ひばり2月号クロスワードパズル応募ページ」からご応募いただくか、はがきに①答え②郵便番号③住所④氏名⑤年齢⑥電話番号⑦ひばり2月号の感想をお書きのうえ、〒310-8555(住所不要)茨城県広報広聴課クロスワードパズル係へ。(応募は1人1回まで。)2月22日(木)締め切り。



答え A B C D

12月号の答え: あんこう 1月号の答え: さかぐら(※) たくさんのご応募ありがとうございました。

### 【タテのカギ】

- いちごの品種。いばらきのブランドいちご「いばらキッス」は、「とちおとめ」と「レッドパール」と「〇〇〇〇」を掛け合わせて誕生。(ヒント:表紙)
- 表(おもて) ↔ 〇〇
- 本県の野生鳥獣による農作物被害額(平成27年度)のうち、約9千万円は〇〇〇〇によるもの。(ヒント:2ページ)
- 灰褐色の鳥の名前。日本各地で見られ、夜間には大集団で共同ねぐらをなして眠る。鳴き声が騒がしい。
- 道に迷った子ども。一緒にいる人からはぐれた子ども。

### 【ヨコのカギ】

- 味が良いこと。または物事が上手な様。
- 県天心記念五浦美術館において、2月9日(金)から開催される企画展「秘蔵の〇〇〇武山展」(ヒント:7ページ)
- 手前の方へたぐって近づけること。算数で「足す」(+ )と対をなす言葉。
- どちらかを取るという点になれば、比較的那の方が良い様子。…より〇〇
- だいたいの見当。目標。〇〇がつく
- 桜川市の伝統的工芸品「真壁〇〇灯籠」
- 平成28年に、鹿児島県の種子島から打ち上げられた無人補給機「こうのとり」6号機によって、国際宇宙ステーションに届けられた大子町産の青果物。奥久慈〇〇〇

次回「ひばり」3月号の新聞折り込みは2月25日(日)です。